土地区画整理事業地内の宅地販売開始

第1期31区画好評販売中　一部建築確認申請も

○ハウスメーカー3社が建売や建築条件付きで31区画を販売

- ➢1区画：約200㎡（60坪）
- ➢平均坪単価：約17万円(住宅ﾒｰｶｰHPから)

⇒十分価格競争力がある

○早ければ、来年1月下旬に数戸完成。2月には入居開始も

⇒九州大学関係者をはじめ、定住促進の受皿となる魅力あふれる街ができていくことを期待

【前原東土地区画整理事業　概要】

◎事業主体：前原東土地区画整理事業組合（組合施行　※組合員57人）
◎施行期間：平成24年1月4日～31年3月31日（造成工事はH25年2月開始）
◎施行面積：20.2ha　◎計画戸数：約1,000戸　◎計画人口：約3,600人
◎総事業費：約32億円

校区住民のつながり・自治会のたいせつさ実感

まちづくり校区懇談会終了

○7月下旬から10月下旬まで、全15校区で懇談会を実施

- ➢全校区の参加者合計：1,307人（平均87人）
- ➢各校区の役員の皆様、参加いただいた住民の皆様に感謝

○2つの大きな成果

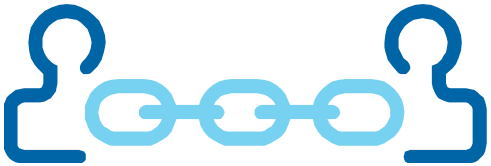
- ➢公約実現化プランの概要を市民に直接伝えることができた
- ➢校区の実情、課題、校区まちづくりの取組を知ることができた

⇒あらためて、市民力の高さと、地域の絆のたいせつさを実感

本市の自治会平均加入率は、91.09%

○平成22年度に続き、2度目の調査を実施（全162行政区対象）

- ➢前回調査と比較して、2.16ポイント減少
- ➢前回調査からポイント向上したのは、前原南校区と桜野校区



○自治会未加入の理由は、「無関心」が一番

- ➢無関心、区費への負担感、近所付き合いのわずらわしさ、役職への負担感など

○安全・安心のまちづくり、地域の助け合いは、「自治会」が基本

⇒市としても自治会活動のたいせつさを十分認識しており、今後とも積極的に加入促進に努めたい

糸島市の学力は決して低くない

全国学力・学習状況調査、福岡県学力実態調査の結果公表

○小学6年生、中学3年生
すべての教科で国平均・県平均を上回る

地域の学校教育レベルは、定住地選択の目安

○学校教育レベルの高さをもっと積極的にPRする必要あり

- ➢これまで、他自治体よりも低いイメージで見られる傾向があった
- ➢学校教育レベルが高く、進学校（修猷館高校、早稲田佐賀高校など）への通学も可能な地域であることをしっかりとPRしていきたい

○学校現場における教職員の努力も大きい

- ➢教職員は、児童・生徒たちにとって、学びの先導役
- ➢教職員が子どもたちへの教育そのものに力を注ぎやすい環境づくりが求められる（土曜授業、中学校少人数学級等）

⇒九州大学の協力も得ながら、学力向上の取組を積極的に進めていく